

港区観光ボランティアの会

港区観光ボランティアの会は、港区が実施している育成講座を修了した港区公認のガイドで作られています。『広報みと』などで募集する「参加者募集ツアー」と、お客様の希望する日時にガイドを派遣する「ガイド派遣サービス」を提供しています。

詳細は、下記をご覧ください。

「港区観光協会」ホームページ
(<http://www.visit-minato-city.tokyo/ja-jp/>)

ガイド派遣サービス申込方法

1 港区観光協会ホームページにアクセスします。



2 右下の「ボランティアガイド」「ガイド派遣サービス申込」をクリックします。

3 タイトルの下にツアーのリストが表示されますので、ご希望のツアーをクリックして選び、内容を確認のうえ「お申し込み」の項目に入力して、「送信する」をクリックください。



●申入人数:原則として2名以上、20名以内(小学生以上)
●申込時期:希望日の2か月前から20日前まで
●ガイドの手配が難しい場合もあることをご了解ください

ガイドは、港区南青山のJUNKO KOSHINOデザイン監修の制服を着用してご案内します。

本誌載の情報は、発行後に変更になる場合もございますので、お出かけの際には、お電話等で事前にご確認いただくことをお勧めいたします。

問い合わせ 港区観光協会 ボランティアガイド担当 03-6809-5514(平日9~17時)

発行 一般社団法人 港区観光協会 東京都港区芝5-36-4
編集 港区観光ボランティアの会

発行年月 令和2年9月

a

六本木 軍隊の街から アートの街へ

六本木という地名の由来は定かではありません。この辺りに、6本の松の木があったからという説。上杉、朽木、高木、青木、片桐、一柳の木の付く大名屋敷が周辺にあったからという説などがあります。

明治時代、周辺一帯は大名屋敷の広い土地に恵まれていたので、現在の東京ミッドタウン^{a1}には大日本帝国陸軍の歩兵第一連隊が、国立新美術館^{a2}には歩兵第三連隊が置かれています。

ペリーは嘉永6年(1853)に黒船で浦賀に来航し、翌年に再来航して日米と親善条約を横浜で結び、下田と函館が開港されました。

その後、下田に赴任したアメリカ総領事のハリスが幕府と日米修好通商条約を結び、麻布山善福寺^{a3}に初めての公使館を開きました。

統いて、イギリスが高輪の東禅寺^{b2}、フランスが三田の済海寺^{b3}、オランダが芝の西応寺^{b4}、プロイセン(ドイツ北部)が麻布の春桃院^{b5}など、場所が便利で広い土地の港区のお寺にして発展を遂げていったのです。

終戦後、アメリカ駐軍が歩兵第一連隊だった地を接收し、将校宿舎として使いました。その影響でアメリカ兵やアメリカ人向けのクラブやバーなど、深夜まで営業する飲食店が多く進出し、賑わいをみせました。日本人の軍隊の街からアメリカ人の軍隊の街へと変貌を遂げていったのです。

昭和35年(1960)、霞ヶ関にあった防衛庁本庁が現在の東京ミッドタウンに移転。平成12年(2000)に市ヶ谷駅跡地に統廃合されるまで、ここが本拠地でした。また、平成19年(2007)にオープンした国立新美術館の前身は、歩兵第三連隊のあと東京大学生産技術研究所として使われ、兵舎の一部が美術館別館として残っています。

現在は国立新美術館と、東京ミッドタウンのサントリー美術館、六本木ヒルズ^{a3}の森美術館を結んで「六本木アートトライアングル」と呼ばれ、アートの街に生まれ変わっています。

森美術館入口 六本木ヒルズミュージアムコート
東禅寺 日本初のイギリス公使館が置かれた

本誌載の情報は、発行後に変更になる場合もございますので、お出かけの際には、お電話等で事前にご確認いただくことをお勧めいたします。

問い合わせ 港区観光協会 ボランティアガイド担当 03-6809-5514(平日9~17時)

発行 一般社団法人 港区観光協会 東京都港区芝5-36-4
編集 港区観光ボランティアの会

発行年月 令和2年9月

b

なぜ港区に 大使館が多いのか?

日本にある大使館の過半数の80か国あまりの大使館が港区にあり、その約半分が麻布エリアに集中しています。それは次のような歴史的な背景があります。

幕末には多くの外国の船が、開港を求めて日本を訪れるようになりました。

ペリーは嘉永6年(1853)に黒船で浦賀に来航し、翌年に再来航して日米親善条約を横浜で結び、下田と函館が開港されました。

その後、下田に赴任したアメリカ総領事のハリスが幕府と日米修好通商条約を結び、麻布山善福寺^{a3}に初めての公使館を開きました。

統いて、イギリスが高輪の東禅寺^{b2}、フランスが三田の済海寺^{b3}、オランダが芝の西応寺^{b4}、プロイセン(ドイツ北部)が麻布の春桃院^{b5}など、場所が便利で広い土地の港区のお寺にして発展を遂げていったのです。

終戦後、アメリカ駐軍が歩兵第一連隊だった地を接收し、将校宿舎として使いました。その影響でアメリカ兵やアメリカ人向けのクラブやバーなど、深夜まで営業する飲食店が多く進出し、賑わいをみせました。日本人の軍隊の街からアメリカ人の軍隊の街へと変貌を遂げていったのです。

昭和35年(1960)、霞ヶ関にあった防衛庁本庁が現在の東京ミッドタウンに移転。平成12年(2000)に市ヶ谷駅跡地に統廃合されるまで、ここが本拠地でした。また、平成19年(2007)にオープンした国立新美術館の前身は、歩兵第三連隊のあと東京大学生産技術研究所として使われ、兵舎の一部が美術館別館として残っています。

現在は国立新美術館と、東京ミッドタウンのサントリー美術館、六本木ヒルズ^{a3}の森美術館を結んで「六本木アートトライアングル」と呼ばれ、アートの街に生まれ変わっています。

森美術館入口 六本木ヒルズミュージアムコート
東禅寺 日本初のイギリス公使館が置かれた

本誌載の情報は、発行後に変更になる場合もございますので、お出かけの際には、お電話等で事前にご確認いただくことをお勧めいたします。

問い合わせ 港区観光協会 ボランティアガイド担当 03-6809-5514(平日9~17時)

発行 一般社団法人 港区観光協会 東京都港区芝5-36-4
編集 港区観光ボランティアの会

発行年月 令和2年9月

c

麻布十番商店街 めぐり

麻布十番商店街は、300年あまりの歴史を持つ商店街です。江戸時代に古川の改修工事を行ったとき、十番目の工区だったことから麻布十番の名がついたと言われています。

平成12年(2000)、陸の孤島だった麻布十番に地下鉄が通ったときに、アーケードを撤去して解放感のある商店街になりました。今でも個人商店が多く、六本木ヒルズのNEWに対して麻布十番はOLDの対比を味わえるのも、この商店街の魅力です。

c1 たぬき煎餅

昭和3年創業で煎餅業界では唯一宮内省御用達の指定を受けました。毎日店内で手作業で直焼「たぬき煎餅」を焼いています。

c2 浪花家總本店

明治42年創業で、たい焼き店の元祖と言われています。一匹ずつの焼き型で手焼きをしており、あんは十勝産の特別なものを使用しています。

c3 豆源

慶応元年創業当時から麻布十番に店を構える老舗です。店内には約80種類の豆菓子・米菓があり、売れ筋ランキング1位は「おとばけ」です。

c4 絵てぬぐい 麻の葉

昭和60年に創業。昔ながらの日本の伝統の技で染められた300種類以上のオリジナル手ぬぐいがあり歌舞伎や浮世絵といった柄が楽しめます。

c5 小林玩具店

江戸末期に開業した老舗。定休日もウインターがのぞけるようにシャッターを閉めず、外国人には日本土産に小さなダルマが人気とか。

c6 紀文堂

明治43年に創業し、大正時代に人形焼きを始め、昭和30年代にワッフルを始めた。手作りしている様子をお店の奥で見られます。

c7 万華鏡専門店 カレidスコープ昔館

元は「昔館」というカフェでしたが、万華鏡専門店にリニューアルして開業しました。大きくて高価なものから、キーホルダーの万華鏡までさまざまです。

c8 麻布 香雅堂

約200年の歴史を持つ京都の香舗の系譜、東京は麻布という街で得た30年余の経験を活かし、伝統と革新が共存した感性による和のかおりのご提案を行います。



MINATO-KU MACHI MAP
港区まち歩きコースマップ

C
エリア

麻布・六本木

AZABU / ROPPONGI



港区観光協会

